

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルのメダカ(*Oryzias latipes*)に対する初期生活段階毒性試験

試験番号

0116EEL

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.210「魚類の初期生活段階毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
- 2) 暴露方式: 流水式(定量ポンプを用いる試験装置を使用)
- 3) 供試生物: メダカ(*Oryzias latipes*)
- 4) 試験濃度: 対照区, 助剤対照区(助剤濃度: DMF 100 μ L/L), 0.10, 0.18, 0.32, 0.56 および 1.0mg/L、公比:1.8
- 5) 暴露期間: 40 日間
- 6) 試験液量: 2L/容器
- 7) 供試生物数: 60 個体/試験区(20 個体/容器×3 連)
- 8) 連数: 3 容器/試験区
- 9) 照明: 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 10) エアレーション: なし
- 11) 試験水温: 24 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 12) 分析法: HPLC 法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度: 試験液中の被験物質濃度は平均の \pm 20%以内で推移したものの、設定の \pm 20%を超えたため、影響濃度の算出には測定濃度の平均値を採用した。
- 2) 40 日間の最小影響濃度(LOEC): 1.0mg/L
- 3) 40 日間の無影響濃度(NOEC): 0.56mg/L